

開催報告

第30回測量調査技術発表会・
記念講演・測技協ワークショップ2008

地理空間情報フォーラム2008

2008年6月18日 パシフィコ横浜

「第30回測量調査技術発表会・ワークショップ2008」は、6月18(水)、横浜市「パシフィコ横浜」での地理空間情報フォーラム2008及び同システム展においてアネックスホールF205・206で開催されました。発表会は初日という条件にもかかわらず、562名にご来場いただきました。

また、地理空間情報システム展2008会場(展示ホールD)において、「関連機関による技術展示」として6月18日～20日の三日間にわたり測技協ブースを開設し、測技協活動の案内、測量調査技術発表会30回を記念したパネル展示を行い、多くの皆様にご参加いただきました。

●第30回測量調査技術発表会

測技協の測量調査技術発表会は、会員各社の先端技術の技術発表や、会員相互の情報交換、技術部会やワーキングメンバーによる技術研究活動報告の場として、また、会員各社の発表経験が浅い技術者や、発表のチャンスがもちにくい方々にもプレゼンテーションの機会をもっていただく場として開催しており、毎年多くのご参加をいただいています。

本発表会の第1回目は測技協が財団法人として認可される1年前の1979年（昭和54年）7月に東医保健会館にて開催されましたが、爾来、これまでの総発表数は、特別講演やワークショップ事例紹介等を含め、計492編、総来場者は延べ12,659人を数えます。

第30回を迎えた本発表会では、各技術部会により計12編の技術発表が行われ、技術部会の審査員により、その発表パフォーマンスについて、新規性、有用性、発表の分かりやすさなど7つの視点からの審査にもとづき、優秀発表賞として3名の方が表彰されました。この表彰は今年で3回目となりましたが、発表内容はこれまでも増して全般的にレベルが上がるとともに、発表者の発表スキルもアップし、この発表会への取り組みの積極性が伺え、30年の歴史から次の時代への展望が期待されます。

本発表会の発表内容は2009年2月発行予定の先端測量技術99号（第30回測量調査技術発表会ワークショップ特集号）にて、論文、技術報告等として掲載の予定です。



記念講演



技術発表

第30回測量調査技術発表会 発表題名		○発表者
技術発表会 1部		
空中計測・マッピング部会	「TerraSAR-Xデータによる標高マップの作成」	○野中崇志・山根尚文・笹川 正（株式会社パスコ）
	「高密度樹林帯における航空レーザ測量手法について」	○岩村一紀・福田 真・中内隆幸（朝日航洋株式会社） 廣野一道・飯沼正司・大前秀明（国土交通省越美山系砂防事務所）
	「法定図書等への利活用を重視した基盤データの整備と更新方法の仕組みについて」	○伊藤 裕・竹本 孝（国際航業株式会社） 渡邊祐三（株式会社パスコ） 片桐雅一・松浦由朗（中日本航空株式会社） 山口成大（三重県）今井昇治（三重県自治会館組合）
	「航空レーザ計測におけるコース間調整向上の検討」	○吉永 剛・濱田史生（アジア航測株式会社）
	「航空レーザ計測における特定植生の影響」	○大坪和幸・岩村一紀・近藤雅信・滝澤昭博・中尾元彦・畠 周平・濱田史生・廣田安男・横尾泰広（測技協航空レーザWG）
GIS部会	「空間的解析手法を用いたダイナミック3Dビジュアライゼーション」	○佐藤俊明・内間満明（株式会社パスコ）
国土管理・コンサル部会	「航空レーザスキャナを利用した崩壊地抽出支援手法」	○佐藤 匠・久保 毅・今井靖晃・本間信一・浅田典親（国際航業株式会社）
	「地方における地震防災マップ作成事例」	○荒井秀和・阿曾 克司・今市 雅彦（株式会社日本海コンサルタント） 森 市郎（珠州市建設課）
技術発表会 2部		
位置情報・応用計測部会	「地上型レーザースキャナ計測による文化財への活用事例」	徳田義孝（株式会社国土開発センター）
	「地理空間情報活用推進基本法促進のための座標変換手法」	○中根勝見・本多正憲・飯塚修好（アイサンテクノロジー株式会社）
	「任意のGPS測位点におけるICタグ用四次元座標の管理」	○新出陽平・伊藤広和・田中 稯・荒木春視・藤井陽一郎（株式会社日豊） 平野 優（川崎市環境局）
	「ダイナミック四次元座標管理システム」	○伊藤広和・新出陽平・田中 稯・荒木春視・藤井陽一郎（株式会社日豊）里村幹夫・内海さや香・請井和之（静岡大学理学部）島田誠一（防災科学技術研究所）
第30回 測量調査技術発表会 記念講演		
「30年前の夢は今」		伊理正夫（財団法人日本測量調査技術協会 会長）
測技協ワークショップ2008 安全・安心ワークショップpart3 ～地震災害からわが身を守るには？～		
国土管理・コンサル部会	ワークショップ要旨	司会／住田英二（国土管理・コンサル部会長）
	基調講演 「地震防災に有効な安全・安心マップについて」 ー 地図のパワーを地震防災に生かすスパイラルアプローチ	林 春男（京都大学防災研究所）
	事例紹介 「地震ハザードマップ作成の事例埼玉県宮代町の取り組み」	○下村博之・堀池 泰三（株式会社パスコ）長堀 康雄・佐藤 賢治（埼玉県南埼玉郡宮代町）
	事例紹介 「航空写真等を活用した震災時における家屋被害調査の可能性について」	三富 創（アジア航測株式会社）

●記念講演「30年前の夢は今」

各分野の先端技術の導入により、この30年間で急速な進歩を遂げている測量調査技術のこれまでのあゆみと今後の展望について、「30年前の夢は今」と題し、伊理正夫会長による記念講演が行われました。

技術発表の要旨をまとめた予稿集に加え、伊理会長による記念講演内容と過去の技術発表タイトルすべてを掲載した記念冊子を配布いたしました。



●測技協ワークショップ2008

3回目を迎える「安全・安心ワークショップ」として、京都大学防災研究所の林春男教授による基調講演1編および2編の事例紹介が行われました。開催直前に中国四川大地震や岩手・宮城内陸地震等多くの災害が発生したこともあり、来場者の本テーマへの関心は高く、盛況のうちに開催されました。

●本年度表彰者

第30回測量調査技術発表会 優秀発表賞

発 表 名	発 表 者
「航空レーザスキャナを利用した崩壊地抽出支援手法」	佐藤 匠（国際航業株式会社）
「地上型レーザスキャナ計測による文化財への活用事例」	徳田義孝（株式会社国土開発センター）
「空間的解析手法を用いたダイナミック3Dビジュアライゼーション」	佐藤俊明（株式会社パスコ）

平成19年度 優秀技術論文

	論 文 名	執 筆 者
会長賞	「航空レーザ計測結果の可視化－赤色立体地図作成法とその発展－」	千葉 達朗（アジア航測株式会社） 共著者 鈴木 雄介（アジア航測株式会社）
奨励賞	「ヒューマンナビゲーションにおける「サインマップ」の可能性」	丸山 智康（国際航業株式会社）

◆地理空間情報システム展（6月18日～20日）

参加型パネル 測量調査技術発表会30回のあゆみ～測量調査技術の変遷～

3年目となる技術展示では、測技協の事業案内、セミナー開催の案内、12月に測技協が事務局として開催するISO/TC211第27回総会（国際会議）の案内、測技協のISOについての取組みなどのパネル展示と共に、第30回目となる発表会を記念し、

第1回が行われた1979年からの30年間の測量調査技術の重要な技術変革、自然や社会的事象などを技術普及部会が取りまとめ、記念パネルとして展示いたしました。

この記念パネルはより正確な測量技術史を目指し、編集委員会のアイディアにより、来場者の皆様にパネル内に追加や修正を自由に書き加えていただく参加型企画といたしました。3日間で数十を超える書き込みをいただき、来場者の皆様の測量技術についての知識と経験の豊富さ、関心の高さを盛り込んだ貴重なものとなりました。皆様のご意見を十分参考にし、今後も測技協ならではの技術史パネルとして更新していく予定です。



本年度表彰者



パネル展示 1



パネル展示 2